



日野市立滝合小学校

滝合小だより

令和6年10月31日(木) 第8号

〒191-0055

日野市西平山2-3-1

Tel 042-583-5172

Fax 042-583-5173

学校ページ <https://www.hino-ky.ed.jp/e-takiai/>

校長 佐藤 美徳

「心のおきどころとしての郷土」

校長 佐藤 美徳

私は、府中市の北西部のはずれのあたりで育ち、今もそこに暮らしています。

そこは、国立市、国分寺市と接する、市境の住宅地で、府中駅よりもむしろ国立駅や西国分寺駅、谷保駅などに近く、JR中央線・南武線沿線文化の影響を受けている場所です。昔からの住民も多く、比較的のんびりとした土地柄です。

私の出身中学の裏手には、国分寺崖線沿いに「武蔵台緑地」が丘陵として東西方向に広がっており、幼少期より、この通称「黒鐘の森」の中を、まさに冒険と遊びのワンダーランドとして自由に駆け回っていました。

そして、この森からJR武蔵野線を超えて少し東に行くと、かの武蔵国分寺跡や、崖線沿いのいわゆる「ハケ下」の湧水群が広がるエリアに至ります。「名水100選」にも選定された「お鷹の道・真姿の池湧水群」をはじめ、豊かな自然の水場が広がっています。地中から水がこんこんと湧き出す不思議、そこに生息する淡水生物や植物、清らかなせせらぎの音や水辺の風景、そのすべてに私は激しく心惹かれ、高学年の頃には、毎日のように友達と放課後の水辺の探索に没頭したものです。もう、夢中でした。映画のような鮮烈な思い出です。

後年、これらの場所への思いは、「子供時代のお気に入りの遊び場」というものから、「自分を育てくれた郷土の豊かな自然」というものへと、青年期から成人期以降にかけて、その認識が徐々に深まっていきました。少年時代への郷愁をとまなうメタ認知の高まりです。

現在もなお、同じ場所にあり続ける「黒鐘の森」も「ハケ下の水辺」も、私にとっては、常に自分の心の深い所にある「ふるさとの原風景」そのものであり、50年以上経った今でも、つい足が向いてしまう「心のおきどころ」となっています。きっと、だれにでもそんな場所があるのではないのでしょうか。

さて、先日、本校5年生の学級で、日野市が推進している郷土教育の研究授業が行われました。郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成をねらいとする継続的な取組です。

今回は、地域に今も残る日本の文化や歴史について考えようという学習でした。平山八幡神社に伝わる社宝の軍配や、大正から昭和にかけて稼働していた西平山の旧燃糸工場と燃糸の出荷のための八王子馬力街道。また、現在の平山住宅団地の場所に「鮫陵源」（こうりょうげん）という娯楽施設が、昭和11年から昭和30年まで存在した痕跡など、初めて知った地域の歴史の一端に触れ、児童自ら学習課題を立てました。

今回の探究学習の過程においては、地域の文化・歴史が、浅川の河岸段丘の最下段に広がる、この滝合地区の豊かな自然環境とも、さまざまにつながり合って紡がれてきたということにも子供たちの目が大きく見開かれていくことを願っています。

私には、郷土を知り「ふるさとを感じる」ということと、「自分を知る」ということとが、人の心の深い場所につながり合っているように思えてなりません。それは、アイデンティティの確立であり、生涯続く自分探しの旅でもあると考えています。

子供たちが、郷土に自分なりの思いをもち、いつか懐かしさと安心感をもってふるさと日野を「心のおきどころ」として愛するようになるための契機として、日常からの「郷土体験」や、「自分の外界にしっかりと目を向け、豊かな自然を感じとる感性の耕し」が、ひのっこの心を優しく強く支えていくのではないのでしょうか。

【教職員に関するお知らせ】

第3学年から第6学年の図画工作科を担当しておりました あんどう のぶこ 安藤 伸子 主任教諭
は、10月23日（水）より産前休暇に入りました。

後任として、講師 いしだいら まりか 石平 茉莉花 教諭 が
10月31日（木）に着任いたしました。

絵を描いたり、ものを作ったりすることが大好きなので、授業を通して皆さんと楽しい時間を過ごしたいなと思います。よろしくをお願いします。

第1学年に入っていたエデュケーション・アシスタント たかさわ もりひろ 高沢 盛寛は退職しました。

11月生活目標

「丁寧な言葉づかいをしよう」

今月は、丁寧な言葉遣いができるように意識することが目標です。学校では、目上の方と話すときに丁寧な言葉を遣うことや、友達同士でもお互いがよい気持ちで過ごせるように、話し方や言葉などを考えてから伝えるように指導していきます。

11月安全目標

「冬の放課後の過ごし方の注意を知ろう」

日が暮れるのが早くなります。保護者と話し合って決めた時間を守り、遅い時間まで外出することのないように、気を付けましょう。
冬の季節は乾燥した日が続きます。友達と火遊びをしてはいけません。大規模な火災やケガにつながります。

ふれあい月間について

東京都では、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進することを目的とし、6月、11月、2月を「ふれあい月間」としています。本校では、一人一人の子供の心を大切に受け止め、学校を安心して生活できる場にするために「学校生活についてのアンケート」を実施します。

ふれあい月間を通して、学校では、自分の行動や友人関係を振り返る時間をとり、いじめ等の未然防止、早期発見に努めております。この期間は、ご家庭でもお子様の友人関係を把握できるよう、いつもより学校や友人に関わる会話を増やしていただけると幸いです。そして、日々のお子様の様子などで何か気になることがありましたら、各担任までご相談ください。今後ともご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

【滝合米の稲刈り】 10月24日（木）

校庭の田んぼで5年生が育てた「滝合米」が、今年も豊作です。滝合小の地下水で育ちました。

児童は「いつ食べるんですか？」と給食に出るのを楽しみにしています。



【芝生イベント】シバフェス 10月26日(土)

★午前は、「シバフェス」・・・主催：芝生管理委員会とPTA

★午後は、「滝愛祭」・・・主催：地域の自治会と有志による実行委員会

校庭の芝生で、1000人以上の方が参加し、ふれあい、交流を深めました。



シバフェス

「ミニ運動会」

◎大玉転がし

未就学の子供たちから順番に転がしました。身長よりも大きな玉にびっくり顔でした。

◎玉入れ

子供も大人も、大好きな玉入れ。
かごの中から
「い〜ち、に〜、さ〜ん…」
数える大人もにこにこでした。



◎かけっこ

滝合小の運動会には「未就学児かけっこ」がなくなっていました。でも昨年度から、シバフェスにて再開！！ちびっこから学年順に走り、最後は高学年&大人の部。

◎ヨガ教室

地域の皆様、保護者、教職員に好評のヨガ！
講師の声と芝生が心地よい・・・
肩の周りがほぐれ、スッキリ。

(シバフェスと滝愛祭について、学校 Web ページにも掲載していますので、ご覧ください。)



【芝生イベント】滝愛祭 10月26日(土)

◎お店がいっぱい!

フランクフルト、焼きそば、フライドポテト、飲み物、かき氷…おいしいものにあふれていました。的当て、くじ引き、射的は長蛇の列〜。ハンドメイド、野菜販売や似顔絵、カイロも人気でした。



◎滝合小カラーガード T♪RAISE

鮮やかにフラッグが回ります。
朝の練習を中心に頑張っています。
日野市内や近隣の市のイベント出演多数。



◎滝合小金管バンド

みんなに人気の曲を披露。
アンコールもありました♪
11月4日(月)煉瓦ホールで演奏します!



◎平山中吹奏楽部

さすが中学生、リズミカルな演奏!
滝合小出身の生徒もいました。
また滝合小で披露してくださいね。



◎パフォーマンス

マジック、大道芸など、プロも大学生も
祭りを盛り上げてくれました。

学校 「地域と共に歩み、安心できる学校づくり」プロジェクト

地域 「芝生でつながる」プロジェクト を皆さんで進めていきましょう。

【体育着の着方について】

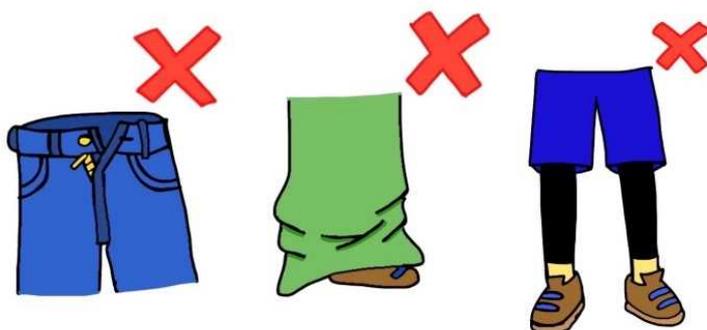
体育部

上着

- 冬は、防寒のために、体育着の上に長袖や長ズボンを着用してもかまいません。チャックやフードのついたものは、ひっかかると危ないので、着ません。また、かかとより長いズボンは転倒の原因になるため、着ません。

※汚れてもいいように、体育用に上着を用意することをおすすめします。

- 体が温まったら、長袖や長ズボンは脱いで運動します。
(体育着の下にタイツなどは着ません。)



運動しやすい服装であることが大切です。体育着を忘れたときには見学となります。

見学時は、活動はできなくても先生の話をよく聞いたり、友達の動きをよく見たりして学習をしましょう。

